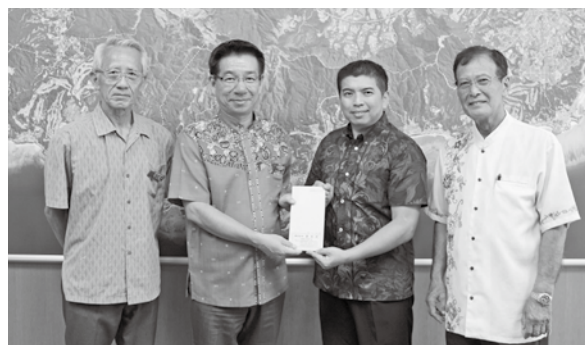


## 恩納村社会福祉協議会へのご寄附 大変ありがとうございました。

香典返し／久場 兼盛 様(故 久場 兼福) 30,000円

## 恩納村奨学基金へのご寄附

恩納村字真栄田469番地1  
株式会社 まえだ 様より 300,000円  
(平成28年6月16日)



読谷村字座喜味126番地1  
有限会社 有志建設 様より 500,000円  
(平成28年6月24日)



～育英事業の趣旨を御理解くださいますて誠に有り難うございました。～

## 恩納村学校支援地域本部事業

### 学校支援ボランティア活動報告⑭「できる人が、できる時に、できることを」

【喜瀬武原校】6月16日、小学生対象の平和集会において、恩納区出身の仲井間小夜子(旧姓 喜久山)さんに戦争体験を話していただきました。仲井間さんは、サイパン島で経験した出来事について、ご自身で描いた絵を用いて、低学年にも分かりやすい言葉で語って下さいました。「まず、となりにいるお友達と仲良くすることが平和の始まりです」と仲井間さんが話すと、子ども達から「戦争を二度と起こさないためにも、皆で仲良くしていきます。」という感想がありました。仲井間さんにはこの他、恩納校と仲泊校でもお話をさせていただきました。子ども達のために貴重なお話をしていただき、ありがとうございました。



【恩納校】6月29日、恩納小学校2学年「まちたんけん」の学習で、恩納区出身の大城保則さんにガイドとしてご協力いただきました。恩納区の「カンジャガー」、「恩納ナビー生誕の地」、「神アシャギ」、「恩納松下の碑」についての説明と、子どもたちからの質問に答えていただきました。最後に大城さんから子どもたちへ「今日をきっかけにもっと地域に興味を持って学び、恩納村に誇りを持ってるように頑張ってください。」との激励がありました。非常に暑い中での学習になりましたが、大変ありがとうございました。

◎ 問合せ ◎ 教育委員会 社会教育係 ☎ 966-1210 担当:比嘉・安永

## 海外移住者子弟等研修事業に係る調査

去る5月1日から13日まで、恩納村海外移住者子弟等研修事業に係る調査をブラジルのサンパウロ、カンポグランデ、ロンドリーナ、サントスとボリビアの2か国5地域を訪問しました。これまで実施してきた研修生受入事業の継続と新たに恩納村青年を海外に派遣する事業の実施について、現地の意見や状況を確認しに長浜村長を始め、海外子弟等研修担当、沖縄ボリビア協会事務局長を務めている与古田悦子さんに通訳をお願いし訪問しました。

訪問した5地域とも大歓迎を受け、各研修事業に前向きな答えをいただきました。



▲サンパウロの空港まで見送りにきてくれたブラジルの恩納村出身者のみなさんと記念撮影

研修生受入事業の実施による交流や、恩納村青年の派遣事業による人材育成を目的に今後は、現地と更なる調整を重ね、事業を実施していきます。

現地でも「広報をいつも楽しみに見えています。」とおっしゃっていました。今回、協力していただきました皆さん、本当にお世話になりました。Obrigado(ありがとうございます)。

## 地元産品及び地元企業優先使用要請

毎年7月は、沖縄県が策定した「県内企業への優先発注及び県産品の優先使用基本方針」に基づき、業界、消費者及び行政等全県民が一体となって「じょうとーむん 使うよろこび 県産品」をスローガンとして各種事業及び広報キャンペーンが実施されています。

その一環として、恩納村商工会から當山会長をはじめ、渡嘉敷副会長、宮崎副会長、恩納村建設業者会から平安名会長が長浜村長を訪問し、地元産品及び地元企業を優先的に使用し、公共工事には地元建設業を優先すると同時に、住民にも地元産品優先使用の意識の高揚を図るとともに、村内大口需要先の企業についても地産地消・地元企業優先使用について意識高揚を図っていただくよう要請がありました。

